

1. 授業の概要(ねらい)

社会学の理論は、多くの社会学者の英知と彼らの実証的な検証とが選択淘汰され、その結果生き残った「凝縮された知識」である。こうした理論の根本にある問いは「近代とは何か」であるが、これはまさにわれわれの生きている現実を問い直す、現在においても非常にアクチュアルな問題提起である、といえる。この講義では、このように現実を問い直すきっかけとなるような身近な社会問題を取り上げながら、それを理論的に見ていった場合にどのようなことがいえるのかを、具体的に分かりやすく説明していく。

この社会学理論Ⅱでは、死の社会学と環境問題について見ていきたい。どちらのテーマも「人間の生き方」を問う、大きな問題であるといえるが、それだけに多くの人はあまり深く考えることをせずに済ませてしまいがちな主題でもある。それゆえ、この授業ではこうした問題を考えるきっかけとなるように、さまざまな理論的主張や異なった価値観に基づく見方を提示して、自分自身がどのような立場をとるべきなのかを明らかにできるようにしていきたい。

2. 授業の到達目標

さまざまな事実を認識した上で、特定の社会問題に対して「自分なりの考え」をもてる。

社会の問題を発見し、社会を構想することができる。

調査・研究の成果をもとに論理的な主張を展開できる。

3. 成績評価の方法および基準

2回程度行われる授業内レポート(20%)と、定期試験の結果(80%)を総合して判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業内で、適宜指示する。

5. 準備学修の内容

授業中に出てきたわからない言葉や術語の意味などを調べて授業内容を把握しておくとともに、関連する文献や資料などを読んでおくことで、いつでも授業内レポートに対応できるようにしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

さまざまな社会問題に興味をもち、それについて自分の頭で考えることが、抽象的な理論の理解にもつながることを知って欲しい。

7. 授業内容

- 【第1回】 社会学理論Ⅱについて
- 【第2回】 死とは何かー心臓死と脳死ー
- 【第3回】 脳死と臓器移植
- 【第4回】 臓器移植問題と宗教
- 【第5回】 臨床心理学からみた昏睡状態と死
- 【第6回】 安楽死と尊厳死
- 【第7回】 近代医学の考え方とガン告知
- 【第8回】 環境倫理学とは何か
- 【第9回】 環境問題と南北問題
- 【第10回】 ディープ・エコロジーの考え方
- 【第11回】 エコロジー思想の潮流
- 【第12回】 エコロジーと女性
- 【第13回】 エコロジーと近代①
- 【第14回】 エコロジーと近代②
- 【第15回】 秋期授業のまとめとテスト